

共用品推進機構だより 2015年07月24日(15)

目次

(62) 共用品推進機構関連記事

▽「標準化の推進など 3分野で報告会／点字毎日活字版」

(63) 各種催しとお知らせ

▽「『UDプラス in はままつ 2015 シンポジウム・体験展示会』 開催のお知らせ」

(64) サービス関連記事

▽「持ち手、ジッパー付き カットスイカ楽々持ち帰り」

▽「バリアフリーの銭湯」

(65) 新刊紹介

▽『多様な子どもたちの発達支援

なぜこの行動？なぜこの対応？理解できる10の視点』

▽『発達障害の子の立ち直り力「レジリエンス」を育てる本』

▽『特別支援学級だからこそできること』

▽『発達障害の疑問に答える』

(62) 共用品推進機構関連記事

▼「標準化の推進など 3分野で報告会／点字毎日活字版」

7月6日(月)法人賛助会員の担当者らを東京都内のホテルに招き、平成26年度の活動報告会を開いた。調査研究、標準化の推進、普及・啓発の三分野について、進行中のプロジェクトを中心に報告をした星川専務理事は「ヘルプデスクになりたい。使う人、作る人から問い合わせがあったときに、

しっかりと応えられる機関でありたい」と、法人の活動の意義と役割を説明した。

今回の報告会では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、大会組織委員会の担当者を招いた最新情報の紹介もあった。

さらに、盲ろう者の福島智東京大教授を講師に招き、必要な情報提供やコミュニケーションのあり方を考えた。

(点字毎日活字版 7月23日2面より抜粋)

(63) 各種催しとお知らせ

▼ 『UDプラス in はままつ 2015 シンポジウム・体験展示会』 開催のお知らせ

・シンポジウム UDプラス in はままつ 2015

車いすの概念を超えた新しいパーソナルモビリティ「WHILL」の開発者である、杉江氏をお招きし、「外出を楽しむ、移動とコミュニケーションのUD支援」をテーマにユニバーサルデザインの新しい可能性について探っていきます。

テーマ「外出を楽しむ、移動とコミュニケーションのUD支援」

日時：2015年8月21日（金）13:30～16:00

場所：浜松市地域情報センター・ホール

〒430-0929 浜松市中区中央一丁目12-7

定員：150名

参加費：無料

申し込み方法：

電話またはFAX、メールいずれかで8月21日までに下記を連絡する。

- 1.参加者の氏名
- 2.会社・団体等
- 3.電話番号
- 4.FAX番号またはメールアドレス

その他：手話通訳あり 音声テキスト化するアプリ「UDトーク」の
デモンストレーションあり

申し込み・問い合わせ先：

静岡県くらし・環境部県民生活課協働推進室班

TEL : 054-221-3153

FAX : 054-221-2642

E メール : shohi@pref.shizuoka.lg.jp

http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/ud/universal/ud_plus/h27/sympo.html

・展示体験会 UD プラス in はままつ 2015

日時 : 2015 年 8 月 22 日 (土) 10 : 30~16 : 30

場所 : 浜松市ギャラリーモール「ソラモ」

〒432-8032 浜松市中区海老塚町 51-1

問い合わせ

浜松市役所市民部ユニバーサル社会・男女共同参画推進課

〒430-8652 浜松市中区元城町 103-2

TEL : 053-457-2364

FAX : 053-457-2750

http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/ud/universal/ud_plus/h27/tenji.html

http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/ud/universal/ud_plus/index.html

(64) サービス関連記事

▼「持ち手、ジッパー付き カットスイカ楽々持ち帰り」

スーパーの店に並ぶ4分の1や6分の1などの大きさカットされたスイカで、持ち手とジッパーを付けた包装に切り替える動きが広がっている。客が商品を持ちやすいように工夫した。普段、スイカを買わない消費者が物珍しさに手に取るケースもある。また、通常の包装に比べ手間がかからず、作業の省力化にもなっている。

従来のラップやフィルムを使った包装だと、買い物袋に入れて持ち運ぶ際、他の商品と接触して果肉が傷んでしまう課題があった。この資材を使えば、買い物袋に入れずに、そのまま持ち帰ることができる。

やや大きめの袋にスイカを入れ、ジッパーを閉めれば商品となるため、スーパーの作業効率改善にも貢献している。

(日本農業新聞 7月23日9面より抜粋)

▼「バリアフリーの銭湯」

東京・墨田にバリアフリー設計で障がいがある人や、要介護者でも家族と風呂を楽しめ、雨水を活用する「人と環境に優しい」ことをコンセプトにした銭湯「御谷湯（みこくゆ）」がオープンした。

1947年創業の同銭湯をリニューアルしたもので、黒湯と言われる温泉の掛け流しがウリ。4、5階は1週間ごとに男湯と女湯が入れ替わる銭湯で、スカイツリーをのぞむ半露天風呂でもある。

福祉型家族風呂は1階にあり、介護が必要な人と家族用のヒノキの浴槽2つを備える。貸し切り入浴なのでゆっくり楽しめる。

（日経MJ 7月24日20面より抜粋）

（65）新刊紹介

▼『多様な子どもたちの発達支援

なぜこの行動？なぜこの対応？理解できる10の視点』

発達が気になる子・困った行動をする子の姿を具体的に挙げて、それに対する適切なかわり方や実践の工夫を紹介。保護者を支える視点やクラス運営などについても解説する。月刊誌『ピコロ』連載をもとに書籍化。

著：藤原里美（ふじわら・さとみ）

発行：学研教育みらい

本体価格：1600円（税別）

ISBN：978-4-05-406287-0

▼『発達障害の子の立ち直り力「レジリエンス」を育てる本』

少数派の特性をもつがゆえにうまくいかない場面に出会いやすい発達障害の子どもたち。療育に不可欠となる立ち直り力「レジリエンス」の育て方や配慮の仕方について、マンガやイラストを交えてわかりやすく解説する。

監修：藤野博（ふじの・ひろし）日戸由刈（にっと・ゆかり）

発行：講談社

本体価格：1300円（税別）

ISBN：978-4-06-259694-7

▼『特別支援学級だからこそできること』

特別支援学級における指導の考え方を、「異年齢集団を生かした効果的な指導」「障害の特性に応じた指導」など、子どもや学級の実態別の実践事例で紹介。特別支援学級の制度的な位置づけやその特徴についても解説する。

監修：丹野哲也（たんの・てつや）

編：全国特別支援学級設置学校長協会

発行：東洋館出版社

本体価格：2000 円（税別）

ISBN：978-4-491-03124-8

▼『発達障害の疑問に答える』

発達障害について役立つ（正しい）情報を提供し、教育と医療の連携をめざす本。発達障害の診断・治療、教育・支援、保護者やきょうだいの支援等に関する質問を取り上げて解説する。『教育と医学』掲載に加筆・修正し単行本化。

編著：黒木俊秀（くろき・としひで）

発行：慶應義塾大学出版会

本体価格：1700 円（税別）

ISBN：978-4-7664-2236-8

（編集後記）

東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まって以来、昔から使われていた「おもてなし」という言葉が新たな意味を帯びて飛び交うようになりました。そして、経済産業省は 2016 年度から、東京五輪に対応して「優良おもてなし」の認証制度を始めるそうです。認証の基準は他言語対応、クレジットカード利用の可否などですが、「おもてなし」から想像できるものとは少し異なるような気がします。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、このオリンピック、パラリンピックの選手を迎える施設の整備、移動手段、サービスの内容についても、具体的に検討を始めています。

障害のある人たちが利用しやすくなることでこの「おもてなし」がもっと生

きてくるよう、共用品推進機構として、この検討会に参加して協力を始めた
ところです。(金丸淳子)

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>